

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	26	大学等名	東京電機大学
テーマ	テーマ I・II 複合型		

【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・事業選定による各種取組の着手により、質保証の枠組みの構築とアクティブ・ラーニング(AL)の充実に向けた成果があがりつつある。また、教員の動機付けを重視している点は、ALを普及していく上で必須であり、評価できる。
- ・教育改善推進室において、ALの推進と学修成果の可視化を統合的に取り組まれていることは評価できる。
- ・本事業の成果たるルーブリック体系やポートフォリオを基盤として、今後の教育改善や開発が構想されていることは評価できる。

<改善を要する点>

- ・学内の実施体制について、本事業推進の実質的な担い手と目されるAP推進委員会に全学レベルの幹部が含まれておらず、取組を全学的に支援していくという観点からは力強さを感じることができない。また、評価体制の整備については、外部評価に関する活動とその成果や、PDCAサイクルにおけるDのフェイズ(目標の設定を受けてそれを実現するためにどのようなAL手法を用いるのか)が示されていない。体制の更なる整備が必要である。
- ・補助期間終了後の継続性について、学外との連携やFD・SDの実施・普及についての発展的な展望や、学内予算措置についての具体的な対象、目的、方法など、見通しをより具体的に示すことが必要である。